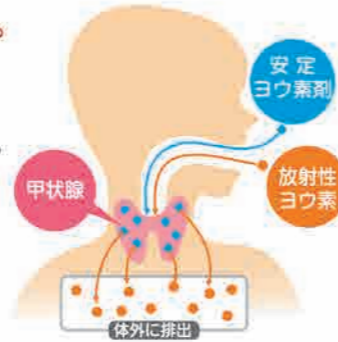


安定ヨウ素剤

安定ヨウ素剤とは

原子力災害時には、放射性ヨウ素が大気中に放出されることがあります。呼吸や飲食により放射性ヨウ素を大量に摂取すると、甲状腺に集まり、内部被ばくにより**甲状腺がんを発症する可能性があります**。あらかじめ、「安定ヨウ素剤」を服用することで**甲状腺の内部被ばくを予防または低減する効果があります**。

安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素以外の放射性物質には全く効果はありません。このため、服用後も必ず避難や屋内退避を行って下さい。



入手方法

事前配布・・・PAZの地区の住民を対象に、説明会を開催して配布しています。

緊急配布・・・安定ヨウ素剤を持っていない住民が原子力災害時に避難や一時移転をする際に、原則として国の指示で県と市が配布します。

PAZ(即時避難区域)

事前配布+緊急配布

UPZ(避難準備区域)

避難または一時移転の指示が出た地区の住民へ緊急配布

事前配布の説明会

PAZにお住まいの方には事前配布をしています

避難のタイミングが早いため、定期的に説明会を開催して安定ヨウ素剤を事前配布しています。対象の方は案内をお送りしますので、必ずご参加ください。説明会では問診票のチェックを受け、不明な点があれば医師や薬剤師に相談してください。なお、令和3(2021)年から説明会のほかに郵便による配布も行います。

事前配布の対象者

39歳以下の方と40歳以上の妊婦・授乳婦・妊娠を希望する女性が配布の対象です。
ただし、配布の対象でなくても希望される方には配布します。

有効期限は5年

事前配布を受けたら適切に管理してください。安定ヨウ素剤は5年ごとに更新します(ゼリー剤は3年)。緊急時にすぐ持ち出せるよう、保管場所を決めておきましょう。

いつ服用？

服用は指示が出てから!!

安定ヨウ素剤は、効果のある時間が限られるため、避難や一時移転の指示に合わせて出される**服用指示に従い、適切なタイミングで服用することが重要です**。

安定ヨウ素剤の服用時期と効果	
服用時期	抑制効果
被ばく 24 時間前	90%以上
被ばく 8 時間後	40%
被ばく 24 時間後	7%



指示が出たら速やかに服用しましょう

出典：Health Phys.,78,2000

服用時の注意

⚠ 服用は原則 1 回

連続服用はしない。指示があった場合のみ再度服用すること

⚠ 過剰服用しない

年齢により服用量が違う。3~12歳は1錠、13歳以上は2錠

⚠ 3歳未満の乳幼児

3歳未満の乳幼児は、ゼリー剤を服用



⚠ ヨウ素過敏症の方

ヨウ素に対して過敏症がある方は服用しない

⚠ 薬の飲み合わせに注意

治療中の病気、服用中の薬に注意



⚠ 妊産婦・授乳婦

指示をきちんと守る、体の状態を把握しておく



不明な点はあらかじめかかりつけ医に相談しましょう。

⚠ 副作用

服用によるメリット・デメリットを認識